

令和6年度 学長の業務執行状況の確認結果について

令和 7 年 6 月 23 日
国立大学法人滋賀医科大学
学 長 選 考 ・ 監 察 会 議

国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議規程第2条第1項第4号及び国立大学法人滋賀医科大学学長選考等実施細則第11条第1項の各規定に基づき、令和7年6月23日開催の国立大学法人滋賀医科大学学長選考・監察会議（令和7年度第1回）において、上本伸二学長から下記のとおり学長の業務執行状況を確認したので、公表する。

記

【確認概要】

- 日 時 : 令和7年6月23日（月） 15時28分～16時20分
場 所 : 大会議室（管理棟3階）
確認対象期間 : 令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
確 認 方 法 : 学長から業務執行状況の報告を受け、質疑・応答を行った。
確 認 事 項 : 1. 学長就任後の5年間の、特に5年度目の成果について
2. 第4期中期目標の達成状況及び重点的取り組み事項の成果について
3. その他
確 認 資 料 : 『学長業務執行状況報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）』
－別添1「令和6年度監事監査結果報告」
－別添2「滋賀医科大学統合報告書2024」
－参考1「滋賀医科大学学長像」
－参考2「学長候補者所信表明書（上本伸二）」

【確認結果】

令和6年度における学長の業務執行状況は、「良好」である。

特に以下の点を高く評価する。

- 1) 開学50周年記念事業の実施に際して、学長のリーダーシップの下、学内外から目標額以上の寄附を集め、未来を見据えたキャンパスの施設整備事業や各種事業に精力的に取り組んだ。
- 2) 第4期中期目標・中期計画における年度の目標値を概ね達成しており、所信表明に掲げた「サステナブルでアトラクティブな滋賀医科大学」の実現に向け、着実に成果をあげている。
- 3) 特に、医師の育成とリクルートに関して、これからの滋賀医科大学の発展と滋賀県の医療を牽引する専攻医のリクルートが順調に進捗しており、令和6年度は過去最高の73名を確保するなどの成果をあげている。
- 4) 令和6年4月より、大学院医学系研究科に看護学専攻博士後期課程を設置し、滋賀県の看護力向上に資する次世代の教育・研究者の養成に注力しているほか、学術交流協定校であるマレーシア国民大学との連携により、大学院医学系研究科にエイジング

サイエンスの研究と教育を行う国際連携専攻（ジョイント・ディグリー・プログラム）の設置が認められるなど、大学院教育の高度化や国際化に取り組んでいる。

5) 開学50周年を機に開始した『滋賀医大「三方よし」人財育成プロジェクト』において、対話や心理的安全性をテーマとした研修を実施したほか、教職員満足度調査により現状の把握に努めるなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。

なお、令和7年度への要望事項として以下の点を挙げる。

1) 令和7年度が学長任期の最終年度となるため、所信表明に掲げた事項や第4期中期目標の達成に向けて取り組むとともに、大学の理念である「地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学」の実現に向け、引き続き、優秀な医療人の育成、地域医療への貢献、社会課題の解決等に取り組んでいただきたい。

以上